

第 63 回ドイツ語学文学振興会賞選考結果

第 63 回ドイツ語学文学振興会賞の選考結果をお知らせいたします。

振興会賞

假谷 祥子

ポエジーの〈形象化〉——ノヴァーリスにおける象徴概念をめぐって——

(阪神ドイツ文学会『ドイツ文学論攷』63号)

振興会奨励賞

覚知 頌春

低地ドイツ語における疑似並列

(日本独文学会『ドイツ文学』164号)

山取 圭澄

Experiment zu einer ästhetischen Umwertung der Rhetorik. Eine Untersuchung über
Winckelmanns *Beschreibung des Torso im Belvedere zu Rom*

(日本独文学会『ドイツ文学』163号)

選考にあたっては次の方々に審査をお願いしました。

審査者会議議長：松浦純

審査者：安徳万貴子，磯部美穂，井戸田総一郎，稲葉瑛志，今村武，笠原賢介，
嶋崎啓，土屋勝彦，筒井友弥，山本淑雄

授賞式は、2023年6月3日（土）、12時15分から日本独文学会春季研究発表会（明治大学駿河台キャンパス）において行われます。多くの方々に御出席賜り、新進研究者の受賞を祝していただければと存じます。

なお、本賞の趣旨は日本国内における若手のドイツ語学文学研究者による優れた業績の発掘にあります。論文応募については自薦・他薦は問うておりませんので、広くみなさまからの御応募をお待ちしております。また、授賞にふさわしい研究が埋もれてしまわぬよう、諸先生方からの積極的な御推挙もお願い申し上げます。第64回の応募締切日は2024年1月20日です。応募は随時受け付けておりますので、奮って御応募・御推薦ください。